



ハスの植え替え (3月12日、順慶寺境内にて)

順慶寺だより



印刷・発行 順慶寺
2026年(令和8年)

4月号

VOL. 390

◆◆ 境内のハス ◆◆

さる3月12日、有志の皆さまのお力添えをいただき、境内に蓮を植えていただいた。蓮は仏教の花として広く知られ、その清らかな佇まいは多くの人の心を惹きつけてきた。夏にはやさしく花開き、境内に訪れる皆さまの心を和ませる風景となることが願われる。

山田無文老師の法話には次のような一節があります。

外の世界が揺らぐほどに、内なる心の静けさを必要とし、静けさによってバランスが取れます。

最近ではアメリカやイスラエルがイランに攻撃したことで、中東からの石油輸入が不安定になっています。NHKドラマ「ばけばけ」の主題歌にもあるように、日々世界が悪化していると感じますし、そのような時代だからこそ、私たち一人ひとりの心の在り方が問われているようにも思われます。心静かに生きるとはどんなことなのか、ふと考えてみました。

(第九六偈)

言葉や行動も落ち着いている」
その人は心も静かだ
解放された安らかな人
「正しい叡智えいちによって
引用です。
今月の釈尊の言葉は『ダンマパダ』からの

◇こころ静かに生きること◇



今月の釈尊の言葉

安らかな人
かれは心静かにして
言葉も行ないも静かである



『ダンマパダ』
96偈より

若院のテーマカット NO.80



「人生に夜があることはありがたい。どれほど仕事が好きでも、夜は仕事を忘れて眠る。お金儲けが好きでも、夜はその欲を忘れて眠る。勉強熱心な人でも、夜は本を棚に戻して眠る。戦場で命を懸ける勇士も、夜は銃を枕にしてしばし眠るだろう」
欲望は人間として生きるうえで必要ですが、本来はほどよく保たれるべきものであり、それが貪欲に変わると執着や嫉妬の原因になります。執着や嫉妬が湧いても、それは誰にでも起こり得ることであり、自分自身に原因があることに気付けないものです。

◇静かさを失った悲しみ◇

3月24日、順慶寺の門かぶせの松が伐採されました。

樹齢一五〇年以上のこの松は、順慶寺の象徴であり、多くの方々に親しまれてきました。高齢になっても、一昨年までは生長を続けており、山門には一層品格を添えていました。

しかし昨夏、異常な高温と少ない雨が重なったうえ、熱くなった石垣から根が温められるという厳しい条件が加わり、マツ枯れの原因となる線虫が根で急増しました。その結果、松ヤニが全く出なくなり、わずかひと月ほどで急速に枯れてしまったのです。その変化はあまりにも突然で、ただ見守るばかりありませんでした。

松枯れの線虫はカミキリムシによって運ばれると言われており、被害木か

らカミキリムシが飛び出すことで周辺の松にも感染するとされています。このため、惜しまれつつも門かぶせの松の伐採を決断しました。

松食い虫に侵された松は幹が空洞化し、カビも多く発生するので伐採は一般的に容易ですが、順慶寺の松は過去の困難を乗り越えてきたためか、幹が非常に丈夫でした。

直径30センチほどの幹を庭師さんがチェーンソーで切る際、「キリキリキリ、キュルキュルキュル」という大きな音が本堂に響き渡り、まるで松が泣いているように感じられて思わず涙がこぼれました。長い年月をともにしてきた存在の重みを、改めて感じるひとときでもありました。

静かな時間とともにあった門かぶせの松の「泣き声」。これから先もずっと忘れることはないでしょう。

①【山田無文】

愛知県出身。臨済宗の禅の修業を積み多くの著作・法話を残した近代の名僧。法律家を目指し3歳で上京したが、中学4年の時、漢文の授業で出会った孔子の『論語』に大きな影響を受けたという。平易な説法で知られ、戦没者慰霊などにも尽力した。著作に「むもん法話集」などがあり、花園大学名誉学長、臨済宗妙心寺派管長を務めた。

(NHKアーカイブスより)

②【松】

古来、松は日本人の生活や文化に深く関わってきた。文学や思想、芸術、人の生き方に至るまで、その影響は広く及んでいる。また松は、仏教の教えを象徴する存在として、寺院や仏像の近くに植えられることが多く、仏教絵画や絵巻にもたびたび描かれてきた。常に緑を絶やさないその姿は、浄土真宗において阿彌陀仏の本願の普遍性を示すものとして、大切にされてきた。



今年から順慶寺で行われる真宗講座で、「正信偈」の超入門編講座が始まります。じゅんこちゃんもこれから一緒に学んでいきましょう。

(私じゅんこも3年間正信偈を学びます!)
正信偈って誰が作ったんですか?

理解すればよいのか戸惑うこともあるかもしれません。

実は、「正信偈」は、親鸞聖人がお弟子の方々に読むように勧められたものです。お書きになられたのは、親鸞聖人ご自身ですが、ご自身のお書きになられたものを、お弟子に読ませることはあまりなく、ほとんどお師匠である法然上人やそのお弟子が書かれたものを読ませていました。ですから、「正信偈」は本当に親鸞聖人が大切にされたことが認められたものだったのでしょう。

「正信偈」は、漢字7文字を一行として、ほとんどが上の句と下の句で区切られるので、リズムよく読みやすいように書かれています。お弟子たちが読んで習っていくのに、取り組みやすいようにしておられたでしょう。親鸞聖人の優しさを感じますね。

「正信偈」は、漢字ばかりで書かれているので、内容は難しいですよ。お寺さんから、「般若心経」ではなく、「正信偈」を習ってくださいと言われますが、覚えるにはちょっと長いのですし、初めて触れる方にとっては、どこから

《第七二回 仏壇のお飾り》

先日、お参りの際に「なぜお飾りの花は造花ではいけないのですか」とのご質問を受けました。数年前、ある方のご法話で「お仏壇は浄土を表現しています。生き花が枯れることも、落ちた花が受け止められる様子も莊嚴(お飾り)です」とお聞きしたことを思い出し、その旨をお伝えしました。面倒なことは省いてしまいがちな昨今ですが、それまで意味が込められてきた事柄まで失われてはいないかと、ふと考えさせられるひときぎでした。

お寺とともに

「頑張ったけれど」



住まいの裏手にあった貝塚伊吹。葉がチクチク変性する部分もあって下で草取りするときに「痛っ、痛い」と指に刺さるのがどうにも厄介に感じていたのですが、数年前からなんとなく地面が下がっている? ような違和感を感じていました。ところがここにきていよいよ「コレって陥没してる?」と不安に思うほどの傾斜が出来てしまいました。運悪くちょうどそこには下水管などいろいろややこしいところ、すぐに水道屋さんにもみていただく、木の根が張って管が変形してしまっている。このまま放置できないので、やむなく2本の貝塚伊吹を伐採抜根しなければいけなくなりました。

この数年、多少なりの庭仕事を家族でしてきましたので早速とりかかったのですが、取りかかると思うようにははかどらず、抜根作業は難航を極めました。結局びくともしないので途中降参で終了。剪定ゴミを運ぶのが精一杯でした。後日別の仕事でみえた庭師さんに切り株の撤去や根元近くまでの伐採を手伝っていただいたのですが、あつという間に本当にビックリでした。拙いながらも頑張った作業でしたが、だからこそ庭師さんの職人技やご苦労に思いが至るよい経験をさせていただきました。

令和八年度 順慶寺新役員名簿

令和8年度 順慶寺役員年番・就任予定者名簿

令和8年度(令和8年4月1日より令和9年3月31日)

Table with 9 columns: 責任役員, 北尾組, 相木 国男, 筆頭参与, 岡本 巧, 門徒会役員, 高畑組, 岡川 明秀, 市場上組, 岡本 博和, 参与8名, 田島 明雄, 杉浦 新八, 護寺会長, 高畑組, 岡川 明秀, 小松 俊哉, 鬼頭 武久, 岡本 清, 池浦 雅博, 池浦 良淳, 岡本 壮司

(泉田・今川) ◎は年番長

Table with 9 columns: 泉田地区, 今川地区, 市場上組, 市場下組, 高畑組, 大久屋前川組, 泉田西組, 山ノ端組, 今川西組, 今川東組, 総代執行部, 年番

(三河・尾張)

Table with 10 columns: 三河地区, 尾張地区, 平松組, 来迎寺組, 西丘組, 一里山組, 落合組, 北尾組, 近崎組, 下高根地区, 荒井地区, 清水 勝, 都築 一郎, 杉浦 正樹, 酒井 和行, 志水 和則, 徳永 治, 相木 康憲, 清水 安文, 桑鶴 克治, 森 忠和, 志水 利一, 相木 武則, 清水美恵子, 杉浦津夜子, 酒井 喜行, 相木 康憲, 委員長, 副委員長, 会計, 監事

令和8年4月より、令和8年度順慶寺護寺会がスタートします。それによって令和8年度護寺役員名簿が発表されました。今年で護寺会執行部は3年任期の2年目となります。また、護寺会長は池田重晴様が任期を終えられ、岡川明秀様が就任する予定です。また、新たに参与として、岡本壮司様を推薦することとなりました。岡本壮司様は小林クリエイト(株)の取締役を勤められ、刈谷商工会議所現役員でもあられます。上表には、役職も記入されていますが、正式には4月18日(土)・19日(日)の蓮師会に開催される護寺会総会の決議を経て、選出される事になっています。

刈谷市仏教会主催 花まつり開催目前

来たる4月5日(日)、昨年に続き、JR刈谷駅前のみならず広場およびアイリスホールにて、刈谷市仏教会主催「花まつり」を実施します。みなくなる広場では、お囃子や剣舞演奏、ジャグリング、手作り小物や野菜、フラワーアレンジメント、キッチンカーなどのマルシェが開催され、アイリスホールでは、灌仏、納棺体験、写経、御朱印が行われます。マルシェで使える金券もお寺で扱っています。詳細は順慶寺までお尋ねください。

3月度護寺会物故者

- 3月度護寺会物故者
釋尼精勝
2月28日寂 間瀬勝子(82)
山ノ端組 間瀬朋広様の母
釋尼美愛
3月2日寂 杉浦美壽江(91)
西丘組 杉浦徳保様の母
凝観院釋吾修
3月11日寂 杉浦吾夫(88)
日進市 斉藤美保様の父
釋尼和敬
3月19日寂 早瀬和子(84)
泉田町 小林靖子様の母
釋尼妙比
3月19日寂 神谷比呂子(55)
名古屋市 神谷宜範様の妻
釋泉石
3月19日寂 矢藤岩根(88)
今川町 山本ゆかり様の父
歡樂院釋秀恵
3月23日寂 相木秀樹(70)
北尾組 相木昭子様の夫
以上7名の方がお浄土にお還りになりました 合掌

編集部短信

◆門かぶせの松を伐採 3月24日、門かぶせの松と庫裏の前の松が伐採された。長年順慶寺のランドマークとして親しまれたが、昨年の猛暑により弱り、松くい虫により蘇生の努力も虚しく枯れた。松の跡地をどのようにするか現在検討中。
◆護寺役員年番会を開催 3月8日、令和8年度の護寺役員年番に対する説明会が、80名ほどの参加者を迎えて順慶寺本堂にて開催された。【4月号より寺報の編集者交代】4月号より寺報の編集を住職から若院へと交代、よりよい順慶寺だよりを作る気持ちで臨む。

編集雑記

いよいよ4月から新年度が始まります。寺報も若院編集となってようやく第一号が出版されることになりました。これからみなさんとともに様々な経験や課題を乗り越えていくことを心より願っています(住)
順慶寺だよりの編集を交代することとなりました。現時点では住職のものや踏襲した編集となりますが、読者の声を聞き、時代に合わせた編集・発信をしていきたいと思っております。4月になり、新たなスタートとなります。よりたくさんの方の心を繋ぐように心がけていきます(若)



4月の主な行事予定

編集・発行人
印刷・発行所

池浦良慈
順慶寺内

真宗大谷派順慶寺

郵便番号 四四八-0004
愛知県刈谷市泉田町池之浦二

連絡
電話 〇五八(二)二九四
FAX 〇五八(五)五三三
郵送 郵送料毎回円(年間千二百円)
振替 〇八(〇)〇一六六九

会員
護国寺員には五百円にて
一年間郵送をいたします。

インターネット

URL: <http://www.junkyoji.com/>
E-Mail: support@junkyoji.com

日	曜	行事内容	掃除当番
1	水	寺カフェ(9:00~、順慶寺南落間他) 蓮師会事前連絡会(19:00~、順慶寺本堂)	
2	木		木-1
3	金		
4	土		
5	日	(かりや花まつり、刈谷市仏教会主催刈谷市みなくる広場他)	
6	月		
7	火		
8	水		
9	木	教化予算委員会(14:00~、順慶寺本堂) 男女助音講(16:00~、順慶寺本堂)	木-2
10	金		
11	土	最高顧問会議(18:00~、順慶寺玄関)	
12	日	たけのご掘り(9:00~、順慶寺集合)	
		花まつり・初参り式(10:30~、順慶寺本堂)	
		真宗講座(14:00~、順慶寺本堂)	
13	月		

14	火		
15	水	おみがき・大掃除(8:30~、順慶寺)	
16	木	お花立て(8:30~、順慶寺)	木-3(休)
		男女助音講(16:00~、順慶寺本堂)	
17	金	本堂お荘厳(9:00、順慶寺)	
18	土	蓮師会・護寺会総会(午前午後、順慶寺)	
19	日		
20	月		
21	火		
22	水	21組対抗ゴルフコンペ	
23	木		木-4
24	金		
25	土		
26	日		
27	月		
28	火	宗祖聖人御命日(7:00~、順慶寺本堂)	
29	水		
30	木		

4月行事内容 詳細

たけのご掘り・花まつり 誕生児初参り式

4月12日(日)

たけのご掘り午前9時順慶寺集合
花まつり 午前10時半から

誕生児初参り式 午前11時から

今年もたけのご掘り・花まつり・誕生児初参り式を開催します。お昼にはお勝手会の皆さんによる、たけのごご飯を準備しております。

たけのごをたくさんほうろ！
花まつり(おしゃか様のおたんじょう日)
ぼっまいり式(赤ちゃんの誕生のお祝い)
おいしいたけのご飯もあります！

2026・04・12(日) 参加費無料
どなたでもご自由に
ご参加下さい！

蓮師会・護寺会総会

4月18日(土)・4月19日(日)

午前10時・午後1時順慶寺本堂

法話

19日 農薬寺住職 瀧義範氏
20日 蓮成寺前住職 青木馨氏

本年も順慶寺三大法要の一つ、蓮師会を厳修いたします。

昨年より、多くの皆様のご参詣をたまわると、土日の日程に変更されております。護寺会員の皆さまは、万障繰り合わせてお参りください。なお当日、お抹茶接待、お斎も準備しております。

真宗講座

4月12日(日)

真宗講座 午後2時順慶寺本堂

今年から、真宗講座は住職が「正信偈」をテーマに開催いたします。小学生でもわかる内容にするとの事。三カ年の講座でその第一回となります。講座後、希望者のみ正信偈の写経を行います。今回は第一回のため、ガイダンスのみ行いますので、書道用具の準備は必要ありません。

じゅんこのときめき歳時記



花粉症持ちの方には辛い季節となりましたね。あちこちで春を彩る花々が咲き始めています。日本を代表する春の花といえばやはり桜でしょう。

そんな桜の花言葉は、「精神の美」「優美な女性」。「精神の美」は、アメリカ大統領ジョージ・ワシントンが幼少時に誤って父が大切にしていたサクラの木を切ってしまう、それを正直に告白したという話に由来があるそうです。

世界にも親しまれる桜ですが、昔から、日本でも大切にされてきた植物でもあります。利那に散りゆくさまは、仏教の無常観になぞらえて、仏教的な世界観と深く響き合ってきました。親

おしらせ

●太鼓の会が始まります

今年の4月より、新たに太鼓の会(仮称)が始まります。「和太鼓衆SHIN」のメンバーである塩崎智由先生をお招きし、順慶寺にて太鼓をご指導いただきます。4月は13日と27日の19時より開催いたします。現在、参加メンバーを募集しております。年齢・経験は問いません。太鼓にご興味のある方、やってみたいという熱意のある方は、ぜひご参加ください。ご連絡は順慶寺までお願いいたします。

鸞聖人も九才でお坊さんになるときに桜の短歌を詠んだという伝承は、有名ですね。

今も昔も桜を見て感じることは同じかもしれないと思つと感慨深いですね。

初桜 折一もけふは

能日やう

松尾芭蕉

